

常葉学園だより

常葉学園本部
 常葉大学・大学院
 常葉大学短期大学部
 常葉学園高等学校・中学校
 常葉学園橋高等学校・中学校
 常葉学園菊川高等学校・中学校
 常葉大学教育学部附属橋小学校
 常葉大学短期大学部附属とこは幼稚園
 常葉大学短期大学部附属たちばな幼稚園
 常葉リハビリテーション病院

第221号



①2月18日売買契約締結(写真左はポーラ化成工業 三浦卓士代表取締役社長) ②草薙校舎完成予想図 ③校舎位置関係図



くさなぎ
**常葉大学静岡キャンパス草薙校舎(仮称)の
 用地取得と校舎建設について**

常葉学園理事長
木宮 健二

常葉学園はこの度、JR草薙駅北口徒歩4分の土地約1万3千坪を取得しました。この地は静岡が発祥の地であるポーラ・オルビスホールディングス(東証1部上場)の製造子会社ポーラ化成工業の旧静岡工場跡地であり、同社から本学園の果たす地域への貢献、文化的意義を考慮して譲渡いただいたものです。ご縁がもたらせていただきましたことにお礼申し上げます。ご縁がもたらせていただきましたことにお礼申し上げます。ご縁がもたらせていただきましたことにお礼申し上げます。

また、静岡市も草薙北口方面を文教地区として再編したいとの意向があり、学園としても協力を惜しみません。今後の静岡市のご支援をお願い申し上げます。

今回の土地取得により、首都圏、名古屋圏で起こりつつある大学キャンパスの都心回帰に対応し、間近にせまった、さらなる少子化に備えることができるものと期待しております。早速、平成28年度中には新校舎の建設に着手し、平成30年4月には草薙新校舎(上記完成予想図)の完成を目指し、現在、作業中です。

なお、草薙校舎は常葉大学静岡キャンパス瀬名校舎とも徒歩15分(約1km)と近く、一体となって大学、短期大学部用地として利用したいと思っています。

3月20日の理事会で具体的な草薙校舎の利用計画案を決定しました。静岡キャンパス瀬名校舎の教育学部、外国語学部、富士キャンパスの経営学部、社会環境学部、保育学部の5学部、短大部の3学科(日本語日本文学科、英語英文科、保育科)は草薙に移転し、芸術系の造形学部、短大部音楽科(改修のため平成31年4月移転予定)は当面の間、瀬名校舎で教育研究を行い、いずれ草薙校舎に移転します。

平成30年4月からは草薙校舎において学生数約4,000人のキャンパスが誕生します。学生の皆さんが新校舎でこれまで以上に勉学に励み、社会で活躍して常葉の名を高めていただくことを願ってやみません。

常葉中・高

高校は3月3日、中学は3月19日に卒業式が挙行されました。3年間嬉しいことや悲しいことを共に乗り越えた仲間との別れは辛いですが、卒業生は新たな希望に満ちた眼差しで卒業証書を受け取りました。卒業式の後は、「卒業を祝う会」が開催され、各クラス工夫を凝らした演出で、両親やお世話になった先生方への感謝の気持ちを伝えました。



クラス最後の写真撮影



担任の先生と一緒にダンス!



先生に内緒で考えたパフォーマンス



担任の先生に感謝の花束をプレゼント



答辞の様子

橘中・高

3月1日、橘高校の卒業式が執り行われました。361名が無事に高校の卒業式を終え、厳粛な雰囲気の中、それぞれの夢へと向かって旅立っていきましました。また担任それぞれが趣向を凝らしたH.R.を行いました。「答えのない時代を、橘高校で学んだことを生かして、力強く生きていってほしい」という、吉田校長からのメッセージを胸に、卒業生は今後も成長してほしいと思います。また3月19日には、橘中の卒業式が執り行われました。今年で49回目、そして、オレンジホールを使っている最後の卒業式となりました。下級生からコーサージュを胸にさしてもらい、胸を張って卒業生が入場。厳かな雰囲気の中にも、保護者の皆様に間近で見えていただき、心温まる雰囲気では進んでいきました。そして力強い生徒合唱、全員合唱(栄光の架橋、校歌斉唱が行われた後、大きな拍手の中、卒業生は退場していきましました。橘中は中学で学んだことを活かして、大きな花を高校で咲かせていってほしいと思います。

とこは幼



こんなに大きくなりました!



修了証書授与

たちはな幼



これからもずっと友達だよ



卒業おめでとう!



高校 卒業式



夢へと向かって



それぞれのクラスでそれぞれの思いを胸に...



中学 卒業式 オレンジホールでの最後の卒業

橘小

6年生を送る会

3月2日に6年生を送る会(六送会)がありました。これまで、橘小学校のリーダーとしてがんばって来た6年生を、あたたかい気持ちで送り出そうと、六送会実行委員と5年生を中心に、準備を進めて来ました。5年生は、どうすれば6年生が喜んでくれるのか、私たちに何ができるのかというのを一生懸命考えました。そして、1年生から5年生が力を合わせてプレゼントづくりや合唱練習をやってきました。当日は、各学年から歌や演奏の出し物を披露しました。どの学年の発表も、6年生への感謝の気持ちがあふれた贈り物となりました。6年生にとっても忘れられない思い出になったことでしょう。6年生のなかには、涙を流す姿もあり、本当に心あたたまる六送会となりました。



六送会

卒業式

3月18日、第36回卒業式がありました。橘小学校のリーダーである6年生49名が、6年間通い続けた、橘小学校を旅立ちました。凛とした姿で立つ6年生はとても頼もしく感じました。自分の夢について英語でスピーチをしました。この日のために英語の授業でもたくさん練習してきました。堂々と胸をはって夢を語る眼差しをみて、きっと自分の夢を叶えてくれるだろうと感じました。4、5年生からは、「ありがとう」の合唱が贈られました。登下校でのバスの班長や仲良し班の活動、クラブ活動や委員会活動など、これまで頑張ってくれた6年生に対する感謝の気持ち、こめて歌いました。思い出がたくさん詰まった橘小学校を卒業し、それぞれの道を進んでいく6年生は、力強くその一歩を踏み出しました。皆さんの活躍を心から応援しています。いつかまた、成長した皆さんと会えることを楽しみにしています。

入学式・入園式

常葉大短大

短期大学部の入学式が4月4日同校体育館で行われました。本生312名・専攻科生29名に木宮健二理事長・学長から入学が許可され、新入生を代表して英語英文科の萬澤貴絵さんが「社会の発展に貢献できる人間となるべく努力する」と力強く宣誓しました。



常葉大

とこは 幼



わくわくどきどきの年少さん



た〜くさん遊ぼうね♪

たちはな 幼



入園おめでとう



年長さんが歌ってくれたよ



橋小

4月9日、第39回入学式がありました。66名の新1年生が橋っ子の仲間入りをしました。新1年生は名前を呼ばれると、大きな声で返事をして、自分の自己紹介をすることができました。理事長先生と握手をし、少しただけ、お見さんお姉さんになった笑顔を見せてくれました。



菊川中・高



入学式

常葉中・高

4月8日、中・高合同で入学式が行われ、中学35名、高校189名が入学しました。新入生は緊張しながらも、新たな中学・高校生活への期待を胸に、式に参列していきました。今後の学校生活が実りあるものとなるよう、願っています。

橋中・高

4月7日、橋中学への新入生60名、橋高校への新入生は275名となりました。新入生は、緊張しているようにも見えませんが、その中にもこれから始まる学校生活に胸を躍らせ、希望に満ちた表情が印象的でした。



体育館での中高合同の入学式の様子



中学生、クラス開き！



新入生歓迎「黒板アート」by美・デ科生

草薙校舎(仮称) 学生数4千人規模のキャンパスに

本法人は3月20日に開催した理事会で、2月に売買契約を締結した静岡市草薙のポーラ化成工業静岡工場跡地の利用計画について決定し、木宮健二理事長と西頭徳三学長が記者会見を行ってその概要を明らかにしました。

それによると、同地に平成30年2月までに鉄骨造6階建ての草薙校舎(仮称)を建設し、同年4月から運用を開始します。同校舎には、瀬名校舎の教育学部・外国語学部・大学院(国際言語文化研究科・初等教育高度実践研究科)、富士キャンパスの経営学部・社会環境学部・保育学部・大学院(環境防災研究科)、短大部の日本語日本文学科・英語英文科・保育科が移転し、学生数4千人規模のキャンパスとなることを想定しています。

一方、瀬名校舎は造形学部と同校舎に平成31年4月から移転する短大部音楽科とともに当面は芸術系キャンパスとして活用しますが、将来的には草薙校舎へ移転する計画です。

また、浜松キャンパスは、浜松駅周辺に利用可能な適地が見つかり、かつ財務的な余裕が生ずるまで現在地(浜松市北区都田町)で教育研究活動を継続します。

常葉大 第4回常葉大学 改革フォーラム開催

去る2月27日に第4回常葉大学改革フォーラムを開催しました。

当日は、小田切教授がこれまでの2年半の改革について振り返りをした後、大阪大学の佐藤浩章先生にカリキュラム評価の意義や評価方法のポイントなどについてご講演いただきました。佐藤先生は、評価することそのものが目的ではなく、その結果を基に、改善へとつなげていくことが重要であるとお話されました。

最後に西頭学長が本学の取り組みべき課題を明らかにし、これまで取り組んできた改善に加えて、「教員組織・教育環境の整備」を進めていくと語り、会を締めくくりました。



佐藤先生の講演の様子

障害者差別解消法の施行に伴う常葉大学 独自の障がい学生支援のあり方への提言

去る平成28年2月27日、静岡キャンパスで、全教職員に向けた「障害者差別解消法の施行に伴う学生支援のあり方に関するシンポジウム」が開催されました。障害者差別解消法の施行に伴い、大学機関は障害や個性に起因する学生生活上の障壁を取り除くための配慮をし、全ての在籍学生が平等に教育を受けられることができるよう教育環境を整備する努力が必要となりその対応の一環としての取り組みでした。

さらに本学では、まず静岡キャンパス学生支援センターが中核となり、身体障害や精神障害、発達障害、そして、学びにくさや何等かのつまずきを抱えた学生の障壁を軽減・取り除くための支援提供を開始いたします。こうした取り組みにより、教育効果の向上が期待されるため、さらに将来有望な学生輩出が可能になります。



常葉大 浜松校「東京マラソン」で 「ささない鍼」体験クア

2月25日から27日に「東京マラソン EXPO2016」において、健康プロデュース学部健康鍼灸学科の学生4名がけがや痛みの予防など走る前のケアを行いました。ランナーなど約400名がブースに来場。学生たちは来場者に症状を聞きながら、「ささない鍼」をツボに貼りました。鍼灸のPRと日頃の学習成果を発揮する実践の場として、貴重な体験をすることができました。



3日間で400名の方を対応しました

常葉大 経営学部が 掛川市と連携して 企画・運営

2月27日、経営学部の現代社会研究会の学生は、掛川市と連携協定のもと「第22回環境を考える市民の集い」の企画・運営を任せられました。地元小学校の発表の他、富士キャンパスからも「ニワトリ研究会」が成果発表を行いキャンパスを越えて共にイベントを運営しました。企画・運営に携わった学生は「企画や運営の難しさを学んだ。経営学科の学びを活かし、今後もさまざまな活動を行っていききたい」と語りました。



掛川市との連携で大盛況

常葉大 富士校 『ふじのくに伊豆プロジェクト』 貢献賞を受賞

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡新聞・静岡放送の第5回ふるさと貢献賞の受賞者が発表され、社会環境学部の取り組みである「ふじのくに伊豆プロジェクト」が選ばれました。ふるさと貢献賞は、地域のために献身的な活動を続ける個人や団体を顕彰する制度です。受章した本学部のプロジェクトは、学生有志によって松崎町石部地区で13年前から取り組まれている活動で、棚田保全活動や松崎町の地場産品を販売する「青空マルシェ」などを実施しています。2015年度から松崎町と包括連携協定を結んでおり、協議会を設置し棚田の保全活動や旧三浦小学校を活動拠点とした事業活動、将来的には防災や産業活性化、福祉・教育などの幅広い分野で協働の取り組みを推進していきます。



常葉大 八病院

言語聴覚士のお仕事



言語聴覚士(以下ST)は、ことばの障害を克服するお手伝いをします。ことばの障害とは、きれいな発音で話したり、言葉を理解したりや思い浮かべたり、話したり、書いたりが出来なくなる等等です。お子さんではことばが遅かったり、幼児ことばが抜けにくい等です。目に見えにくいこともあれば周りの人に誤解されやすく、心のケアを含めたいお付き合いになります。また、STは食べることに難しい方のお手伝いもしています。うまく飲めず、肺炎になったり、命に危険が及んだり、栄養が補給できなくなると同時に食べなくなるも奪われてしまいます。STはリハビリの世界では目立ちにくいですが、患者さんの人間として生きる喜びを取り戻せるよう地道にお手伝いしています。

常葉大 短大

子育て広場「笑顔につつまれて活動中！」



専攻科保育専攻の学生が毎月2回開催している子育て広場・ところ広場は、今年度で11年目となりました。地域のお母さんとお子さん、広場にやってくる笑顔で遊び回る姿も日常の景色となり、本科学生にとっても自然と触れ合う機会となっています。専攻科学生は、さまざまな年齢のお子さんとかかわる中で個々の成長を学び、お母さんとかかわりから子育ての思いを知る場となっています。また子どもたちにとっては、初めて出会う友達や環境に戸惑ったり喜んだり表情に変化が見られ、一つ一つ大切な経験となっているようです。今年も、母親と学生そして短大全体で子どもの成長を見つめていけるように、新たな関係を丁寧につまんでいきたいと思えます。

常葉大 富士校

経営学部大久保ゼミ「おつかいし隊」活動報告



熱のこもった質疑応答の様子

3月1日(火)、富士商工会議所青年部役員会において、経営学部大久保ゼミの学生による活動報告を行いました。内容は、学生たちが福島県を訪問し、現地の生産者から自慢の逸品を買いつけ、静岡県のお客様に届ける活動「おつかいし隊」の活動報告です。今年度は、常葉大学3キャンパスと短期大学の学生40名の体制で福島県を訪れました。今年度の活動のコンセプトは「体験する」「声を聴く」「伝える」となっており、7チームに分かれて3件の生産者での体験活動、4ヶ所の観光地調査、3名の講師による講話をお聞きしました。学生たちが感じた風評被害の実態や、観光客や地域の人たちの現状を伝えるとともに、学生が現地を感じた「伝えること」の重要性を発表しました。

常葉大 静岡校

Doingプロジェクト報告会開催



平成27年度の「Doing」活動の成果報告会が、西頭学長、山崎副学長ご臨席のもと、源名校舎大会議室に於いて3月1日開催されました。今年度の「Doing」活動は、「東海道まちあるき」、「博物館と連携したカルタ教材の製作・活用」、「サイエンスフェスティバル」、「地域と共により学びを支える」、「シズオカ・ダイバーシティ発芽プロジェクト」、「常葉サステイナビリティ計画」の6つのプロジェクトが採択され、各プロジェクトから1年間の成果が報告されました。報告では、各プロジェクトのアドバイザーの先生方から指導講評をいただいたり、ご出席された先生方からの質疑応答も盛んに行われました。最後は、西頭学長から本プロジェクトへの大いなる期待のお言葉を頂戴し、学生は基より出席者全員が「Doing」プロジェクトの認識を深めた一日でした。

常葉大 静岡校

御伝商店街活性化提言



田中孝治講師のゼミ「静岡学演習Ⅰ」でまちづくりを学んでいる法学部学生らが、1月19日(火)静岡市葵区の中心市街地にある御伝工リアの活性化を、商店街や自治会に提言しました。提言したのは、法学部3年生の14人。ゼミは3グループに分かれて、商店街の取材やイベント運営の手伝いなどを行いました。SNSの利用や、空き店舗活用などを若者目線で提言し、PRポスターなども披露しました。

常葉大 富士校

常葉大 浜松校

経営学部キャンパス交流会を開催



ゼミ活動報告会の様子

2月6日(土)、浜松・富士両キャンパスの経営学部の学生交流を目的とした「経営学部キャンパス交流会」が富士キャンパスにおいて開催されました。昼食で両キャンパスの学生が親睦を深めた後、両キャンパスのゼミ2・3年生によるゼミ活動報告会に臨みました。学生がこれまで取り組んできた活動内容を発表し、質疑応答が行われ、それぞれのゼミで行われた内容に学生たちは興味深そうに耳を傾けていました。今回のキャンパス交流会は、活発な意見交換が見られ、浜松・富士のキャンパスのつながりを一層深めるものとなりました。

常葉大 浜松校

被災者の想いをつないで



額を込めて…「繋」

3月11日、浜松市アクト通りで「3・11復興キャンドルナイト」が開催されました。これは、県西部6大学の学生でつくる「3・11追悼イベント」で今年で5年目。被災者への追悼、震災を忘れないという風化防止と、南海トラフ沖地震に対する防災啓発するという意味を込めています。浜松キャンパスの学生を中心に実施され、14時46分、スタッフは被災地の方向に向かい、黙祷しました。17時、中央広場に並べられた約6,000本のキャンドルは、震災の記憶を次世代へとつなぐという思いを込め「繋」という文字を作り、暗闇のなかで輝いていました。



がんばる卒業生

現 役で静岡県教員採用試験(中学校 英語)に合格、平成27年3月短期大学部 英語英文科を卒業、今年度教員生活2年目を迎えられた卒業生をご紹介します。



富士市立
吉原第一中学校教諭

梅原
早知子さん

・教員になられた感想は？

笑顔いっぱいの元気な子どもたちに囲まれて、日々幸せを感じています。時には悩み、落ち込むこともありますが、大好きな英語を教えること、また、子どもたちの成長に立ち会うことのできる喜びが教員としての活力へと繋がっています。

・教員を目指されたきっかけは？

母校の中学校での教育実習です。英語と子どもが好きという理由のみで教職を夢見ていましたが、充実した実習の中で、大好きな英語を通じて、喜怒哀楽を共にし、生徒の成長に寄り添える教員に魅力を感じました。そして、教員として過ごす今、子どもの成長の速さには感動します。今後の教員人生において、1人でも多くの生徒の将来に、良い影響を与えられるように日々、努力を重ねていきたいです。

・現役で教員採用試験に合格されましたが、どんな勉強をされましたか？

教職を共に目指す仲間との勉強会や、授業の空き時間やアルバイトの休憩時間などといった隙間時間を使って勉強を進めました。過去問や予想問題を解いたり、授業で使ったノートやプリントを何度も見返したりしました。また、一般企業での就職面接を何度も経験したり、学習塾でのアルバイトなど、社会勉強も楽しみながら取り組みました。

・最後に今後の抱負をお願いします

常に全力で取り組み、生徒と共に自己を向上させていきたいです。信頼される教員を目指して、頑張ります！
梅ちゃん先生の益々のご活躍を祈ります。



優勝したセビジャーナス部
「マリボサ」

【第4回全国学生フラメンコ大会結果】
第1位 常葉大学「マリボサ」
第2位 早稲田大学「バモス」
第3位 京都産業大学「ミス・エストレージャス」
振付構成・衣装指導
河野麻耶(バシオン・フラメンコ主宰)
梅本千枝(同講師)

1月17日に京都外国語大学森田記念堂で開催された「第4回全国学生フラメンコ大会」(主催：京都外国語大学スペイン語学科、後援：スペイン大使館ほか)に、本学セビジャーナス部「マリボサ」が出場し、見事優勝・スペイン大使賞を獲得しました。カスタネットやバタ・デ・コラ(長い裾さばき)を使う難易度の高い踊りに挑み、その独創性が高く評価されました。関東・関西の強豪大学の中で優勝は快挙といえます。

第4回全国学生フラメンコ大会にて 優勝・スペイン大使賞受賞

常葉大 静岡校

静岡会場では法学部3年生約200人が各企業の採用担当者から話を聞きました。参加した学生からは、「志望企業で実際に働く方から話を伺うことができて、よい刺激になりました」等の感想が聞かれ、緊張と期待の中、法学部1期生の就職活動がスタートしました。先輩の背中が見られない第1期生の就活スタートではありますが、チャンスの結果に繋げるために、必死に頑張る様子が印象的でした。



真剣に企業の説明を聞く法学部1期生

常葉大 短大部



2月18日に学生選書ツアーを実施しました。事前に選書方針を確認しておいた学生たちが、学習活動に役立つ資料を学生目線で選定していきます。一般書籍と楽譜資料に、今年は絵本専門店での絵本の選定も加え、10名の学生の参加による選書となりました。

学生選書ツアー —学生による、 学生のための—

活発な意見交換が交わされました



常葉大 浜松校

側はこの意見を今後運営に活かしていきたいと話しています。

「浜名湖花フェスタ」の 集客増加に二役

3月19日、はままつラフォーパークで「浜名湖花フェスタ2016」の開会式が行われ、これも健康学科田中ゼミの3・4年生が参加しました。この日は、受付や来場者に花を配る係、誘導などの業務を積極的に行いました。開催にあたり、主催者側と学生はどうしたら若者が呼び込めるかくり返り話し合いがなされ、様々な意見が上がってきました。主催者側はこの意見を今後運営に活かしていきたいと話しています。

常葉大 3キャンパス

常葉大学主催 合同企業説明会を開催



静岡会場にて



浜松会場にて



富士会場にて

統合後初となる常葉大学主催の合同企業説明会(平成29年3月卒業予定者対象)が、3月2日、3日静岡会場(グラウンディールフケットカイン)、7日、8日浜松会場(オークラクトシティホテル浜松)、9日富士会場(ホテルグランド富士)の3会場において開催されました。5日間延べ270社の企業・団体をお迎えし、参加学生も前年の約2倍に当たる1,834人を数えました。選考活動解禁が6月に前倒しとなり、短期決戦が予想される就職活動に向け、学生たちはそれぞれ関心のある企業ブースへ積極的に訪問していました。参加企業の担当者からは、「意欲的な学生が多く、好印象です」という感想をいただきました。終了時間を過ぎても熱心に企業の話を聴く学生の姿もあり、説明会は盛況のうちを終了しました。本学キャリアサポートセンターでは、今後も学生の進路活動を支援していきます。

法学部1期生 就活スタート

オーストラリア語学研修



橋中・高

オーストラリアの学生と共に！

橋中学、高校では希望者を募り、2月6日から13日の一週間、オーストラリアへ語学研修へ行ってきました。オーストラリアでは、現地の学生やホームステイ先の方との交流を通じ、日本では味わうことのできない、貴重な体験をすることができました。また今回のプログラムも充実したものでした。と思っています。

修学旅行

橋中

USJでハイ！チーズ！▼



▲清水寺で全員で記念写真



橋中学生は、3月4日～3月7日の4日間で広島、大阪、奈良、京都を修学旅行で行ってきました。広島では原爆資料館で当時のお話を聞き、平和学習。その後は厳島神社に参拝しました。2日目は大阪に移動し、USJでハイ！チーズ！など、思う存分遊びました。3日目は奈良の東大寺で大仏の大きさに驚き、その後京都へ移動し清水寺周辺を散策しました。最終日は生徒が楽しみにしていた京都近郊別荘に泊まりました。事前にコースを話し合い運転手さんからもアドバースをもらい、京都の町を十分に楽しめました。4日間という期間でしたが、生徒たちは体調を崩すこともなく、楽しい思い出を胸に、19日の卒業へと残り僅かな中学校生活を悔いの無いよう過ごしたいと思えます。

英語コンテスト

常葉中

3月9日(水)に行われた英語コンテストでは1年生は英語劇を披露しました。2年生は大切にしたいことや将来の夢について、3年生は社会に目を向けた内容をスピーチしました。クラス代表の発表者達は緊張の中、精一杯演技やスピーチを披露しました。特に3年生は、ジェスチャーも交えるなど堂々とした発表ぶり、1、2年生のよい見本となってくれました。長い時間をかけて準備してきたスピーチは一人ひとりの宝物になりました。



お茶クラブ 初釜



2月6日に常葉大学茶道部の協力のもと、お茶クラブの初釜を行いました。大学生の美しいお点前を拝見させていただき、子どもたちの目はキラキラ輝いていました。静まりかえったお茶室でどっぴりとお茶の世界に没り、大満足の子どもたちでした。後半は釜から湯をいただき、自分たちでお茶を点て、1年の心とときめかせました。6年生にとっては小学校生活最後のお点前となり、緊張感と味わいながらよい経験となりました。



橋小

2月6日に常葉大学茶道部の協力のもと、お茶クラブの初釜を行いました。大学生の美しいお点前を拝見させていただき、子どもたちの目はキラキラ輝いていました。静まりかえったお茶室でどっぴりとお茶の世界に没り、大満足の子どもたちでした。後半は釜から湯をいただき、自分たちでお茶を点て、1年の心とときめかせました。6年生にとっては小学校生活最後のお点前となり、緊張感と味わいながらよい経験となりました。

理事長杯争奪 常葉学園百人一首かるた大会開催!



- | | | |
|---------|-----|------------------|
| 小・中学校の部 | 優勝 | 菊川中学校A (小野・池上ペア) |
| | 準優勝 | 菊川中学校B (戸塚・福代ペア) |
| | 3位 | 橋小學校A (片瀬・鈴木ペア) |
| 高校の部 | 優勝 | 橋高校A (藍場・齋藤ペア) |
| | 準優勝 | 菊川高校A (田中・服部ペア) |
| | 3位 | 橋高校B (佐川・藤田ペア) |

2月6日、常葉中学校に学園内小中高の予選を勝ち抜いた14組28人が集まりました。小中の部では、橋小代表の4年生ペアが中学生と激戦を繰り広げ、高校の部では白熱した展開となり、橋高校藍場・齋藤ペアが昨年に続き2連覇を飾りました。百人一首にかけてきた思いや勝負に対する真摯な姿が見られ、応援にも力が入りました。結果は次の通りです。

みんなが主役

保育センター



大きなかぶ



おにのなかまの大冒険

3月12日学園長夫人が学園長先生そっくりの人形と一緒に来所くださり、木宮岳志先生、三浦さんも見守ってください。中、「こはフェスティバル」を開催しました。春から親しんできたたくさんのお絵本のなかから選び、それぞれの学年に合ったシナリオを考えました。日常遊んでいる「かくれんぼ」平均台渡り、跳び箱からジャンプも取り入れて、年齢の発達、表現の差、成長の大きさを感ぜられる劇遊びをお客様に披露してたくさん拍手をいただきました。先生方の「こぶた」も好評でした。一人ひとりが輝き、大きな自信がつけられた素敵な日になりました。



み〜つけた!

土曜講座スペシャル

「先輩と歩く!キャンパス見学会」無事終了

11月28日、一貫コース卒業生が在籍している大学へのキャンパス見学会を、20名の参加者とともに実施しました。慶應大学三田キャンパスでは、見学会に色づいた大イチョウや創設者・福沢諭吉像などを見学し、キャンパスの持つ歴史と華やかな雰囲気にも圧迫されました。一貫コース5期生・杉田 賢さんとキャンパス見学会をしました。見学会後、教室をお借りして杉田さんから講話をして頂きました。杉田さんの心は揺り動かされ、会場内は感動で満たされました。見学会後、参加者達の学習や進路に対する意識づけと行動が、大きく変わっただように思います。



菊川高



平成28年度 学生・生徒・児童・園児・教職員数 平成28年4月1日現在

学校	内訳	学生・生徒・児童・園児						教職員					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	教員	事務職員	非常勤職員	非常勤職員	合計
常葉学園本部										39		26	67
大学院	国際言語文化研究科	0	0					0					
	国際健康福祉研究科	21	7					28	10		1	11	
	健康科学研究科	6	10					16			7	7	
	環境防災研究科	2	4					6			2	2	
教育学部	初等教育課程	119	110	128	201			558					
	生涯学習学科	87	82	90	116			375	56	26	76	19	
	心理教育学科	97	86	59	82			324					
外国語学部	英米語学科	133	94	106	102			434					
	グローバル・C学科	74	56	73	58			263	25	11	49	86	
造形学部	造形学科	93	109	103	91			396	11	7	37	2	
法学部	法学学科	176	166	167	196			707	18	10	15	5	
	健康科学部	92	86	86	89			335	46	9	4	59	
健康科学部	健康科学部	70	64	66	81			281					
	健康科学部	150	152	132	129			563	22	6	22	2	
経営学部	経営学科(富士)	144	153	130	97			524	21	8	11	4	
	小計	294	306	282	228			1,087	43	14	33	6	
健康福祉学部	健康福祉学科	79	76	81	97			333					
	こども健康学科	51	66	52	53			222					
	心身マナジメン小学科	130	107	112	106			455	78	18	75	4	
	健康福祉学科	23	28	18	21			88					
保健医療学部	理学療法学科	38	42	49	34			163	22	5	15	1	
	作業療法学科	37	42	34	36			152					
社会福祉学部	社会福祉学科	115	104	103	77			399	21	8	20	5	
	保育学科	81	98	81	100			360	14	5	23	3	
留学生別科		15						15					
合計		1,857	1,782	1,693	1,759			7,091	344	113	357	45	
常葉大学常葉大学部	日本語日本文学科	51	42					93	7	1	16	1	
	英語日本文学科	19	31					50	7	1	12	2	
	保健科	218	206					423	21	10	58	2	
	音楽科	24	26					52	6	2	56	1	
	小計	312	306					618	41	14	141	6	
	国際語文専攻	7	4					11					
	保育専攻	7	12					19					
	音楽専攻	15	16					31					
	小計	29	32					61					
	合計	341	338					679	41	14	141	6	
高等学校	普通科	189	217	225				631	33	4	22	59	
中学校		35	27	36				100	10	1	12	1	
合計	224	244	263					731	43	5	34	1	
高等学校	英数科	44	54	53				151	54	4	46	5	
	普通科	231	262	338				831					
小計	275	316	391					982	54	4	46	5	
中学校		60	48	60				168	13	1	7	21	
合計	335	365	451					1,151	67	5	53	5	
高等学校	普通科	290	289	290				859	54	5	33	6	
	美・子科	40	52	36				131					
小計	320	341	326					990	54	5	33	6	
中学校		62	58	58				178	14	1	6	1	
合計	382	399	387					1,168	68	6	39	7	
小学校		66	57	50	55	45	48	321	25	1	18	44	
とこは幼稚園		86	89	73				208	12	1	4	17	
たちばな幼稚園		68	76	72				216	12	1	8	21	
常葉リハビリテーション病院									122		30	152	
総合計		3,206	3,319	2,989	1,899	46	48	11,685	612	307	654	122	

